



すくすく通信

2023年5月号
子育て世代包括支援センター
子育て支援室



青空が広がり、窓を開けると爽やかな風が吹き込む季節になりました。今月は、「家庭で起こりやすい事故の危険チェック」についてお伝えします。3月中旬にも子どもが窓から転落する事故が発生し、胸が痛みました。子どもから片時も目を離さないことは難しいため、安全な環境作りをして事故を未然に防ぎましょう。

家庭の中で起こりやすい事故は？

- ① 窒息…柔らかい布団やまくらで窒息する
- ② 誤飲…タバコや医薬品、小さなおもちゃなどを飲み込む
- ③ 溺水…洗濯機や浴槽の残り湯で溺水する
- ④ 転落…窓・ベランダ、階段・ベットなどから転落する
- ⑤ 火傷…アイロン・ヘアアイロン、炊飯器や電気ケトルなどで火傷する



事故が起きにくくするには？

① 窒息

柔らかい布団やまくらは口や鼻をふさいでしまうことがあるため、硬さを見直してみましょう。

② 誤飲

誤飲の危険があるものは、子どもが手の届かない場所に置いたり、引き出しや収納スペースに入れて開けられないようにしましょう。

③ 溺水

子どもは頭が大きく重心が上にあります。浴槽や洗濯機を覗き込んだ時に落ちて残り湯で溺水することがあるため、浴室のカギをかけるなどして対策しましょう。

④ 転落

ベランダや窓の近くに足場（植木や家具など）になるものがあると、踏み台にして上り、転落して大けがにつながります。エアコンの室外機はベランダの柵から、家具などは窓から60センチ以上離して置きましょう。

⑤ 火傷

使用後の家電や家電から出る蒸気に触れたり、調理器具の柄に手をかけて火傷する危険があります。火傷の危険があるものは、使用后すぐにコードも含めて手の届かないところに移動したり、危険な場所は子どもが入れないようにしましょう。

◎親子健康手帳の112～113ページも参考にしてみてください！

